

一筆啓上

# 作左通信



第四十号 平成二十年五月二日(金) 発行

## 作左の会スタート

若葉も目に美しく映る の活動が報告され、新しい

四月二十六日、今年も「一筆啓上・作左の会」の総会が市民ホームで開かれまして。平成十一年に発足したこの会も、今年で十年という節目の年を迎えることができました。これは、ひとえに会員の皆様のおかげであることを感謝し、本年度の会をスタートしたいと思います。

さて、総会では、昨年度

役員の改選・承認が行われました。市川崇新会長のあいさつでは、作左の会を地域に定着させ、地域の歴史や文化をもとにした活動を広げていくという、会の基本的な考え方が確認されました。

本年度の活動としては、すっかり定着したふれあいウォーク祭りや作左通信の発行、ふるさと賞の実施などが提案されました。さらに、本年度の大きな事業である「ふるさと読本」について、来年4月の配本を目指して取り組むことが確認されました。



来賓祝辞では、衆議員議員、杉浦正健氏の秘書である安藤様より、本多作左衛門の生誕地における会の存在意義を価値あるものとして認めていただきました。また、六ツ美西部小学校長、小倉様より、子供たちがふれあいウォークをととても楽しみにしているという活動への励ましがありました。さらに、JAあいち井内支店長の高橋様より、「ふるさとを詠む俳句短歌集」は、お店に来るお客様が楽しみに読んでいるという嬉しいお話がありました。